

地方創生の希望格差

人口減少でも未来に希望をもつまち、あきらめるまち



LIFULL HOME'S総研 もっと、住むことの自由
<http://www.homes.co.jp/souken/>

LIFULL HOME'S



日本最大級の
不動産・住宅情報サイト ライフルホームズ

LIFULL HOME'Sとは
住まい探しでお困りの方

f t

年末年始休業期間の対応について

年末年始期間中は不動産会社などの休業により、お問合せや資料請求への対応にお時間をいただく場合がございます。
また、「住まい探しのサポートセンター」は、12月29日(火)から1月3日(日)まで休業とさせていただきます。
誠に恐れ入りますが、ご了承の程お願い申し上げます。

住まいを探す

総掲載物件数 4,756,960件
本日の新着物件 155,710件

賃貸 新築マンション 中古マンション 新築一戸建て 中古一戸建て 土地

住所から 駅・路線から 通勤・通学時間から 路線図から

車の移動時間から 地図から 不動産会社から タグから

PR したい暮らしから、賃貸の部屋を探そう。

したい暮らしから、
賃貸の部屋を探そう。

物件数No.1の不動産・住宅情報サイト

homes.co.jp

本日の新着物件 194,354件

借りる 賃貸 マンション・アパート・一戸建て

駐車場・店舗・他を借りる

買う 新築マンション 中古マンション

新築一戸建て 中古一戸建て

土地 不動産投資用物件

駐車場・店舗・他を買う

自己紹介

島原万丈（しまはらまんじょう）

株式会社LIFULL

LIFULL HOME'S総研 所長

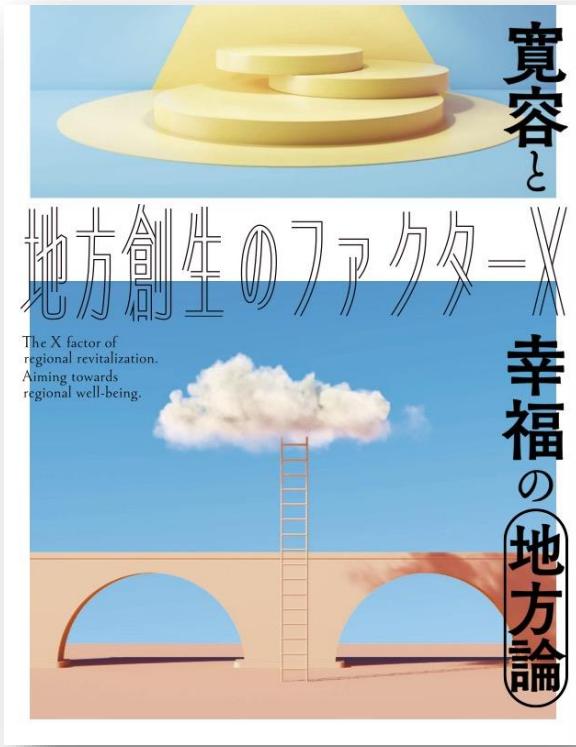


photo by Takeshi Takeda

- › 1989年株式会社リクルート入社。グループ内外のクライアントのマーケティングリサーチおよびマーケティング戦略策定に携わる。2005年よりリクルート住宅総研へ移り、2013年3月リクルートを退社。
- › 同年7月、株式会社LIFULL（旧株式会社ネクスト）に設置された社内シンクタンクLIFULL HOME'S総研所長に就任。独自の調査研究レポートを発行し、ユーザー目線での「住」領域の調査研究と提言活動に従事。
- › 一般社団法人リノベーション協議会設立発起人・エグゼクティブアドバイザー、東京大学大学院非常勤講師、内閣府地方創生推進アドバイザー、文化と教育の先進自治体連合総合アドバイザーほか、国土交通省、地方自治体、業界団体のアドバイザー・委員を歴任。
- › 主な著書『本当に住んで幸せな街 全国官能都市ランキング』（光文社新書）

地方創生シリーズ「寛容と幸福の地方論」

2021年



2022年



2023年



地方創生のファクターX

“遊び”からの地方創生

地方創生の希望格差

「寛容と幸福の地方論」の基本的理念

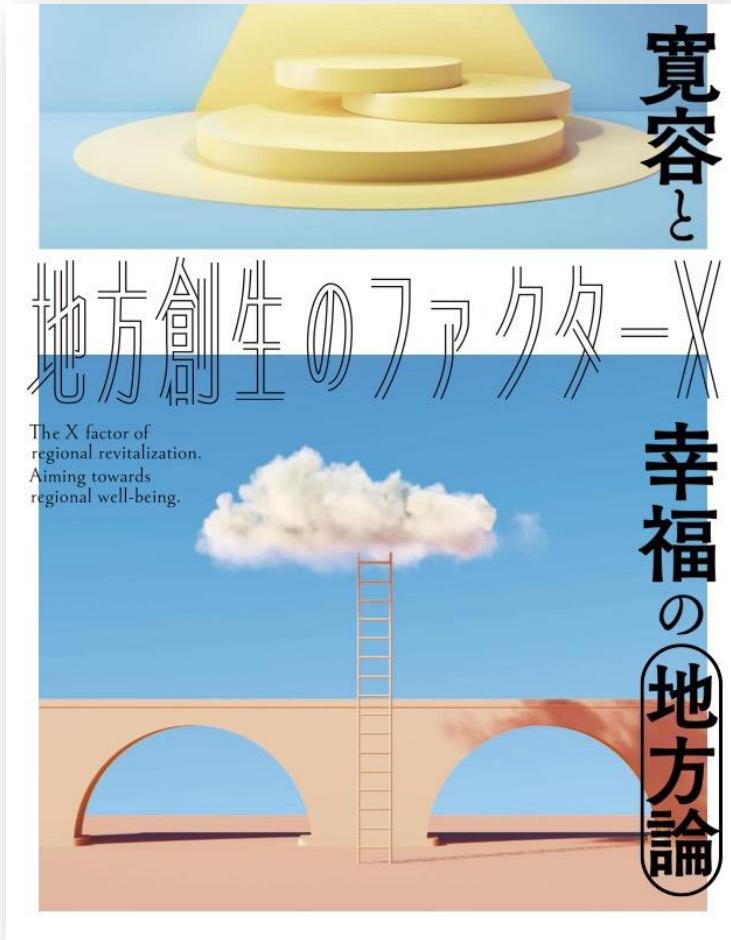
1. すべての個人は、自分が幸福に生きられる場所に住む自由と権利を有する
2. 地域の人口は、選ばれた／選ばれなかった結果である
3. 地方創生が目指すべきは、地域の幸福度（Well-being）の向上である
4. 幸福観は人それぞれ多様であり、多様性は時に矛盾し摩擦を起こす
5. ゆえに、地域社会は多様性に対して寛容であることが求められる



地方創生のファクターX

なぜ地方は選ばれないのか？

地方創生のファクターX 寛容と幸福の地方論



2021年9月15日リリース

○ 寛容性の低さが地方の人口流出を加速させる地方創生のファクターX

○ 人口論ありきの地方創生を見直し、寛容と幸福（Well-being）で地方創生を考えることを提案

**地方創生政策の前提を見直す
新たな論点を付け加えたい**

調査概要

【東京圏の地方出身若者調査】

- ▶ 調査対象：
 - 1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）居住者のうち、1都3県以外（43道府県）の出身者
 - 18歳～39歳男女（学生含む）
- ▶ 調査方法：LINEリサーチ
(窓口は日本インフォメーション株式会社)
- ▶ 調査時期：2021年4月23日（金）～5月7日（金）
- ▶ サンプル数
 - 各道府県別に200sずつ、合計8,600s回収目標
 - 最終回収数は7,417sで不足分のセルが生じたため、事後に各セルが50サンプルになるよう、各セル内でウェイトバックを行った。

	男性	女性	合計
18～29歳	50	50	100
30～39歳	50	50	100
1都道府県合計	100	100	200
全 国	4,300	4,300	8,600

【47都道府県在住者調査】

- ▶ 調査対象：
 - 全国47都道府県の在住者
 - 18歳～69歳男女（学生含む）
- ▶ 調査方法：インターネット調査
(マーケティングアプリケーションズ株式会社が運営するMApps Panel)
- ▶ 調査時期：2021年4月27日（火）～5月11日（火）
- ▶ サンプル数
 - 各道府県別に400sずつ、合計18,800s回収

	男性	女性	合計
18～29歳	40	40	80
30～39歳	40	40	80
40～49歳	40	40	80
50～59歳	40	40	80
60～69歳	40	40	80
1都道府県合計	200	200	400
全 国	9,400	9,400	18,800

地域の寛容性を測る（寛容性指標）

お住まいの都道府県の県民性や社会の雰囲気のあてはまり度（4段階）

【女性の生き方】	【少数派の包摶】
1 この地域では女性向けの求人は補助的な仕事ばかりだ 2 女性は家庭や子育てを最優先するべきだと考える人が多い 3 出世したり責任ある立場に就くことを望まない女性が多い 4 結婚して子どもを持つことこそ女性の幸福だと考える人が多い 5 古い考え方には縛られないで自由に生きている女性が多い 6 政治や経済の場面で活躍している女性が多い 7 女性の頑張りを積極的に応援する社会の空気がある 8 自分の意見や考えを堂々と主張する女性が多い	1 生活保護を受けるのは恥ずかしいと思う人が多い 2 外国人労働者や留学生に対して悪いイメージを持つ人が多い 3 相手の出自（出身地、血縁関係など）を気にする人が多い 4 同性愛者など性的な少数派は生きづらい地域だ 5 まちづくりや公共空間でのバリアフリー化が進んでいる 6 人種差別やマイノリティ差別に繊細な注意を払う人が多い 7 ひとり親の子どもでも肩身の狭い思いをすることはない 8 国籍や人種に関係なく外国人も地域住民の一員として受け入れられている
【家族のあり方】	【個人主義】
1 年齢が来れば結婚して家庭を持つのが当たり前という考え方強い 2 結婚した夫婦は男の子を産むことを期待される 3 子が年老いた親の面倒を見るのが当たり前という考え方をする人が多い 4 血縁者、親戚関係には何かと気を使わなければいけない 5 選択的夫婦別姓に賛成する人が多い 6 家事や育児に積極的な男性が多い 7 結婚しないで独身で生きてても肩身の狭い思いをすることはない 8 子どもの人生にあまり干渉しない親が多い	1 他人の噂話が好きな人が多い 2 世間体を大事にして生きる人が多い 3 場の空気を読まず己の主張をしがちな人は疎まれる 4 普通であること、みんなと同じであることを求める人が多い 5 他人の目を気にせず我が道を行くが多い 6 他人のことにはあまり干渉しない雰囲気がある 7 個性的なファッショントを楽しむ人が多い 8 一人一人の個性や価値観はなにより尊重される
【若者信頼】	【変化の受容】
1 若者は年長者の言うことに逆らえない空気がある 2 なにかにつけ若者が批判のまとになる 3 先輩後輩や年上年下などの上下関係に厳格な人が多い 4 年功序列を当然のことだと考える企業・団体が多い 5 政治や経済の場面で活躍している若者が多い地域である 6 若者の生意気や失敗は大目に見る風潮がある 7 若者の挑戦を応援する気風がある 8 地域の将来を担う力として若者が信頼されている	1 穏やかで安定した毎日こそが幸せだと考える人が多い 2 成功している人を批判して足を引っ張る風潮がある 3 成果や結果よりも真面目にコツコツ努力することが尊重される 4 長く積み上げてきたやり方やルールを変えるのに抵抗を感じる人が多い 5 新しい流行をすぐに取り入れる人が多い 6 リスクをとって新しい試みに挑戦する人が尊敬される 7 少しの格差が出るとしても、経済成長のほうが大切だと考える風潮がある 8 人間関係のしがらみに囚われずドライに行動する人が多い

47都道府県寛容性ランキング（1位～20位）

- › 際立つ東京圏の寛容性の高さ
- › 地方圏では、人口100万人以上の大都市を擁する道府県が上位を占める
- › 全体的に大都市圏が優位のなか、沖縄県の9位、高知県の12位が目立つ

	寛容性 総合指標	女性の生き方		家族のあり方		若者信頼		少数派包摂		個人主義		変化の受容		
		順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	
東京都	1	77.2	1	80.7	1	79.6	2	70.9	1	74.6	1	77.3	1	80.2
神奈川県	2	73.2	2	72.6	2	73.3	1	75.1	2	70.4	2	73.9	2	74.1
大阪府	3	69.5	3	70.8	4	68.8	4	68.3	4	69.6	3	68.9	3	71.0
千葉県	4	67.7	4	66.2	3	70.3	2	70.9	5	66.3	4	66.9	4	65.7
埼玉県	5	65.4	7	63.3	4	68.8	5	67.3	6	64.1	5	66.4	8	62.4
兵庫県	6	64.3	5	64.9	6	66.0	6	65.4	9	63.0	7	63.1	7	63.6
北海道	7	63.6	9	60.2	7	65.3	7	64.3	6	64.1	8	62.8	6	64.9
福岡県	8	62.8	8	62.2	8	59.1	9	60.9	8	64.0	6	65.1	5	65.4
沖縄県	9	58.2	10	59.7	33	44.0	8	61.8	3	69.9	9	60.6	14	53.1
広島県	10	56.1	12	56.9	10	55.5	11	56.0	10	57.0	10	55.7	11	55.5
京都府	11	55.8	11	57.3	9	57.0	14	54.4	15	53.1	11	55.1	9	57.7
高知県	12	55.4	6	64.0	15	51.7	15	52.7	11	54.5	12	54.3	12	55.2
愛知県	13	54.7	13	55.3	11	55.3	13	55.0	17	52.2	13	53.6	10	56.8
宮城県	14	53.0	14	52.3	12	53.3	16	50.9	16	52.9	14	53.4	13	55.0
静岡県	15	51.8	21	47.4	13	52.3	12	55.6	13	54.2	18	50.1	15	51.4
滋賀県	16	51.7	16	49.8	14	51.8	10	56.5	18	50.2	15	52.3	18	49.4
奈良県	17	49.8	20	47.6	16	51.1	16	50.9	20	48.8	16	51.6	19	49.1
大分県	18	49.4	23	47.0	19	49.1	30	46.3	11	54.5	19	50.1	17	49.4
群馬県	19	48.8	15	51.7	18	49.1	24	47.4	20	48.8	24	47.8	24	48.0
長崎県	20	48.6	25	46.4	26	46.6	27	46.7	14	54.1	21	49.1	21	48.6

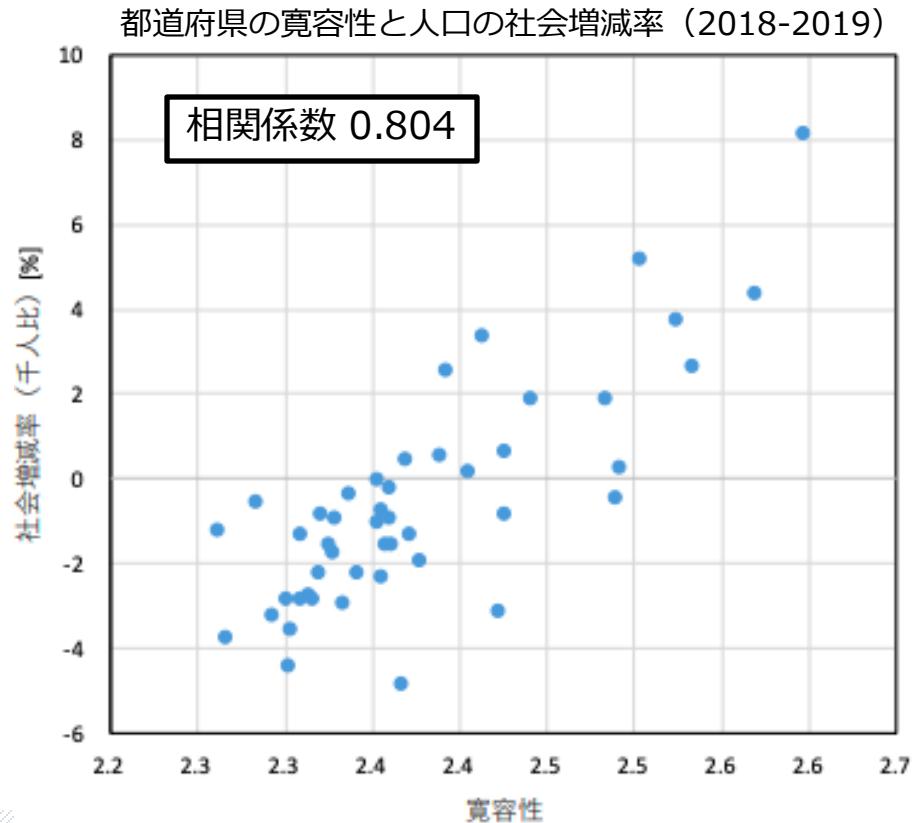
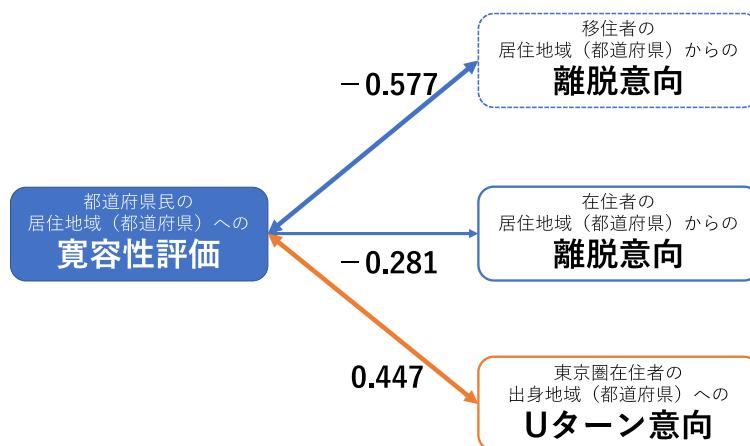
47都道府県寛容性ランキング (21位～47位)

	寛容性 総合指標		女性の生き方		家族のあり方		若者信頼		少数派包摶		個人主義		変化の受容	
	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値	順位	偏差値
山口県	21	48.0	18	48.3	22	48.7	23	47.8	19	49.9	27	47.0	27	46.5
熊本県	22	47.8	27	45.8	27	46.2	33	45.0	22	47.8	17	51.1	16	51.2
岡山県	23	47.5	24	46.7	23	48.6	21	48.0	34	43.1	20	49.6	19	49.1
栃木県	24	47.4	21	47.4	24	47.3	19	48.8	28	45.8	27	47.0	22	48.1
愛媛県	25	47.3	26	46.1	19	49.1	25	47.1	22	47.8	26	47.1	26	46.6
三重県	26	47.1	28	45.1	19	49.1	18	50.7	30	45.5	29	46.3	28	46.1
茨城県	27	46.9	29	44.9	17	49.2	20	48.2	38	42.1	22	48.9	22	48.1
岐阜県	28	46.6	29	44.9	25	46.9	21	48.0	31	44.8	23	48.3	25	46.6
鳥取県	29	45.5	32	44.8	29	45.6	25	47.1	22	47.8	34	43.3	30	44.5
香川県	30	45.3	31	44.8	31	44.8	29	46.5	32	44.6	30	45.5	29	45.7
和歌山県	31	44.5	40	42.3	30	45.4	28	46.5	32	44.6	32	43.7	31	44.3
宮崎県	32	43.9	43	40.9	28	45.9	31	46.1	25	47.1	35	43.1	43	40.4
鹿児島県	33	43.7	35	43.1	43	41.1	37	41.0	27	45.9	25	47.4	32	43.8
佐賀県	34	43.4	36	43.0	34	42.8	38	40.6	25	47.1	31	45.0	38	42.0
石川県	35	43.3	37	42.6	34	42.8	34	44.8	37	42.3	32	43.7	33	43.7
山梨県	36	43.1	33	43.9	32	44.6	39	40.1	29	45.6	39	41.0	35	43.3
福井県	37	42.8	17	48.6	45	38.4	35	44.2	36	42.6	41	40.4	36	42.5
新潟県	38	42.4	41	42.0	36	42.5	32	45.7	39	41.6	39	41.0	40	41.4
長野県	39	41.6	37	42.6	38	42.2	40	39.9	35	43.1	42	40.2	39	41.9
岩手県	40	41.5	39	42.4	40	41.3	36	41.2	40	41.5	37	41.9	41	40.7
徳島県	41	41.3	19	47.9	39	42.1	42	39.3	47	34.9	43	40.1	34	43.5
福島県	42	40.6	44	39.7	40	41.3	44	38.4	43	39.0	36	42.7	36	42.5
青森県	43	40.2	42	41.4	37	42.4	45	37.2	41	40.7	38	41.5	45	37.9
山形県	44	39.8	34	43.6	42	41.2	43	38.7	45	36.0	45	39.6	44	39.4
富山県	45	38.8	45	39.6	47	35.5	41	39.9	44	37.7	44	39.7	42	40.6
秋田県	46	36.3	47	35.3	44	39.2	47	34.6	46	35.4	46	35.4	45	37.9
島根県	47	36.1	46	36.0	46	37.8	45	37.2	42	39.2	47	31.3	47	35.0



寛容性は人口移動のファクターX

- ▶ 地域の寛容性と人口の社会増減率の相関係数は0.804！！
 - 出身者のUターン意向と強い相関がある（不寛容な地域には若者は戻らない）
 - 在住者の離脱意向とは弱い相関関係（不寛容な地域から人は出ていきたがる）
 - 他県からの移住者の定着と強い相関がある（不寛容な地域は移住者が定着しない）



地方創生の希望格差

持続的Well-beingへ

地方創生の希望格差

寛容と幸福の地方論 Part3



2023年9月29日リリース！

○地方創生は持続的な幸福（Well-being）を目標にすべきである

○持続的な幸福（Well-being）を実感するためには、居住地域の未来に対して明るい希望を持っていなければならない

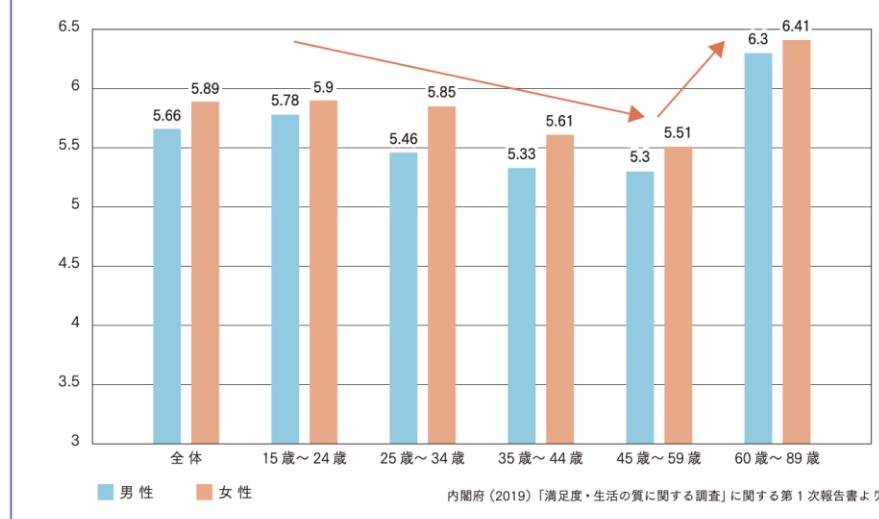
地方創生は地域の希望をつくれ

Well-beingのアップデートと新たな問題意識

1. 幸福度（Well-being）は、いま現在がどうであるかを問う
2. 目指すべき幸福度（Well-being）は、持続的なものでなければならない
3. 持続的Well-beingのためには、住む地域の未来に希望がなければならない

■主観的幸福度のU字カーブ

【図3】性別×年齢別の総合主観満足度



地域の希望を測定する

調査概要

- > 調査方法：インターネットリサーチ
 - 株式会社クロス・マーケティング保有のパネルモニターに調査実施
- > 調査時期：2023年5月19日（金）～6月1日（木）
- > 調査対象：各都道府県在住の18歳以上の男女（学生含む）
 - 各都道府県別に400sずつ、合計18,800s回収を目標
 - 各都道府県内の性・年代別の割付目標を下記表の通り

■各都道府県ごとのサンプル数内訳（人）

	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65歳以上	合計
男性	50	50	50	50	200
女性	50	50	50	50	200
合計	100	100	100	100	400

- 各セレで不足する分については同性内のより若い層から補填することとし、各都道府県の回収合計値が400サンプルとなるように調整

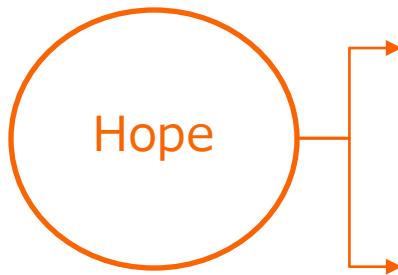
本研究における希望の定義

**希望は来るべき未来に明るさがあるという感知
に伴う快調を帶びた感情**

北村晴朗（1983）『希望の心理 自分を生かす』金子書房

リック・スナイダー（2002）

『Hope theory : Rainbows in the mind』 Psychological Inquiry



pathways thinking;
目標を実現するための複数の「道筋」を考える能力

agency thinking;
道筋に従って目標を実現可能だと考える「主体性」

地域の希望の測定（1/2）

Q1.あなたが住んでいる地域の10年後についてお聞きします。あなたが住んでいる地域の未来は明るいと思いますか、それとも暗いと思いますか。

1. 暗いと思う 2. どちらかといえば暗いと思う 3. どちらともいえない _____ → () a
4. どちらかといえば明るいと思う 5. 明るいと思う

Q2.あなたが住んでいる地域の10年後の未来を想像するとき、あなたはどういう気持ちになりますか。以下の項目について5段階でお答えください。

1. まったく感じない 2. あまり感じない 3. どちらともいえない 4. まあ感じる 5. 強く感じる

- ①ワクワク待ち遠しい気持ち ()
②明るく楽しい気持ち ()
③元気で前向きな気持ち ()
④穏やかで平穏な気持ち ()
⑤なんとかなるという楽観的な気持ち ()
- ①～⑤の合計点 () b

Q3.現在、あなたが住んでいる地域にもいろいろな課題があると思いますが、地域の未来を良くすることが可能だと思いますか。以下の項目について5段階でお答えください。

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. どちらともいえない 4. ある程度そう思う 5. そう思う

- ①この地域には埋もれた魅力や可能性がたくさんある ()
②いろいろ課題はあっても、この地域をより良い場所にするための方法はある ()
③この地域にはいろいろな課題を解決できる人材がいる ()
④住民みんなが努力すれば、この地域をより良い場所にことができる ()
⑤この地域をより良い場所にするために、自分が貢献できることがある ()
- ①～⑤の合計点 () c

Q4.以下のような地域の課題について、あなたが住んでいる地域は対処が可能だと思いますか。以下の項目について5段階でお答えください。

1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. どちらともいえない 4. ある程度そう思う 5. そう思う

- ①この地域の人口減少は歯止めがかけられる ()
②若者のUターンや移住者を増やすことができる ()
③少子化に歯止めをかけて子どもを増やすことができる ()
④地域の経済を活性化させ、安心して働ける雇用環境が作れる ()
⑤ITなどテクノロジーを活用して地域の暮らしを便利にできる ()
- ①～⑤の合計点 () d

地域の希望の判定 (2/2)

あなたの「地域の希望」総合得点

$$a + b \div 5 + c \div 5 + d \div 5 = \boxed{\quad}$$

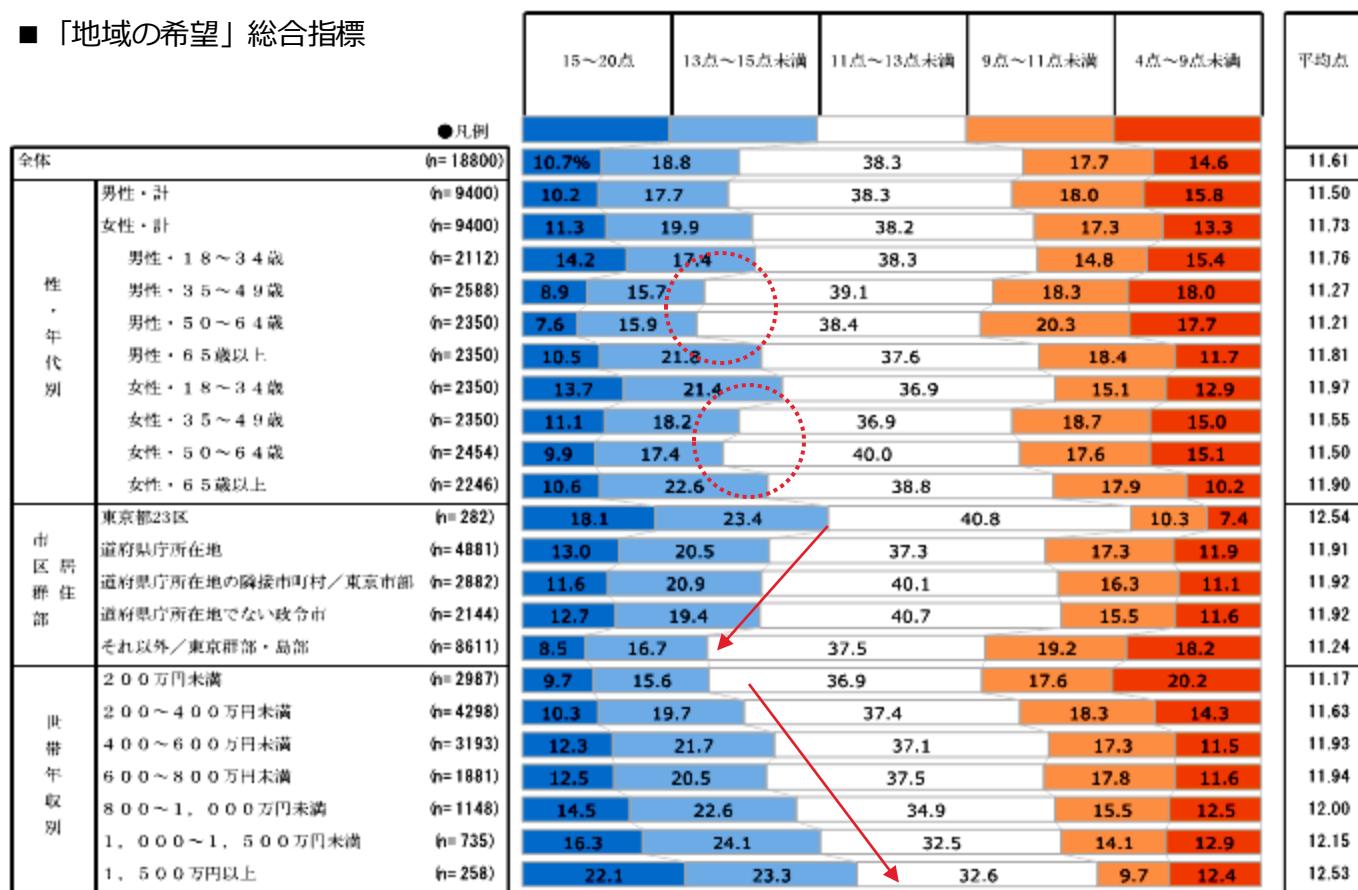
あなたの「地域の希望」ランク判定

「地域の希望」総合得点	地域への希望の高さ	全国の18歳以上の男女の中での出現率
4点～9点未満	希望度がとても低い：ほとんど希望を持っていない	全体の15%程度
9点～11点未満	希望度が低い：あまり希望を持っていない	全体の18%程度
11点～13点未満	希望度は中くらい：どちらとも言えない	全体の38%程度
13点～15点未満	希望度が高い：ある程度希望を持っている	全体の19%程度
15点～20点	希望度がとても高い：とても希望を持っている	全体の10%程度

「地域の希望」個人属性別の傾向

- 若年層と高齢層で高く中年層で落ち込むU字カーブ
- 東京23区（12.54）と地方の小規模市町村（11.24）とで大きな格差
- 世帯年収の高さに比例して高くなる（200万円未満11.17→1500万円以上12.53）

■ 「地域の希望」総合指標



地域の希望は人と地域に何をもたらすのか

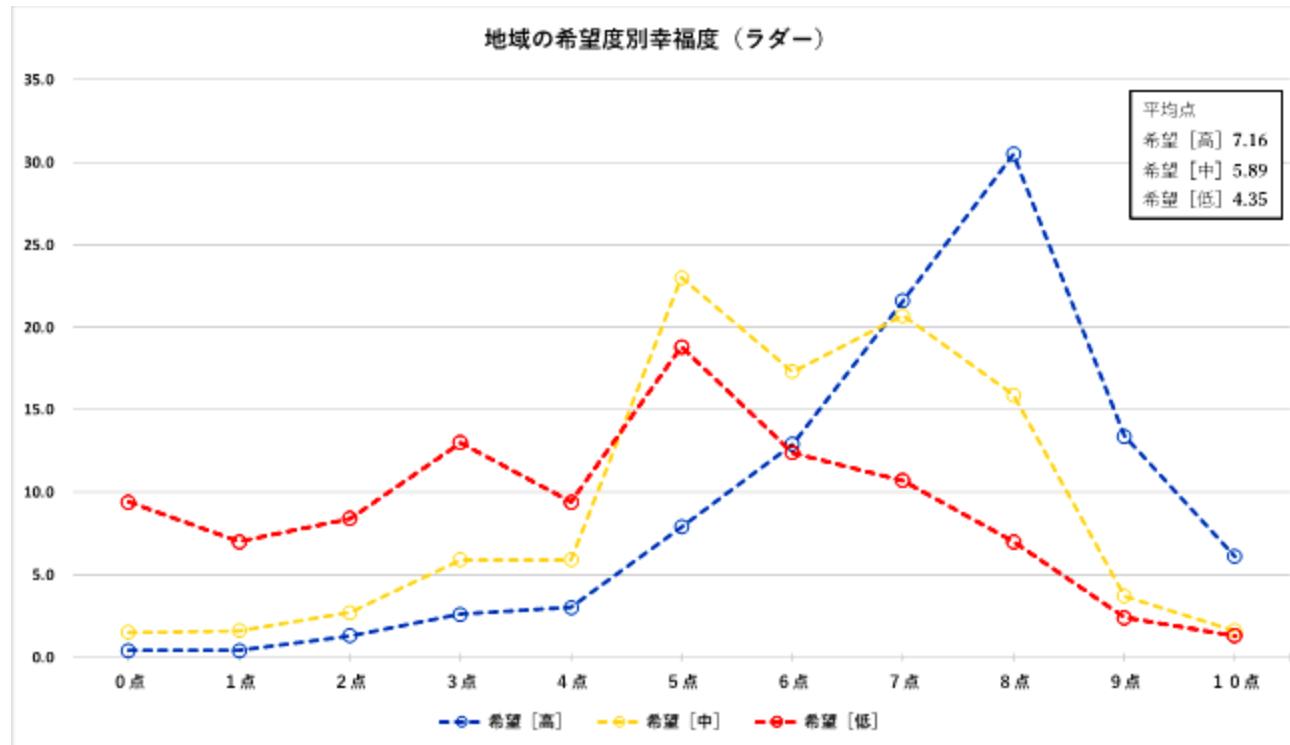
地域の希望は個人の持続的Well-beingを高め、
地域に対してポジティブな意欲を高める

「地域の希望」の効果：個人の幸福度

- 居住する地域の未来への希望の高さは、個人の幸福度（Well-being）に強い相関
- 「地域の希望」が高い層と低い層では、10点満点の幸福度で2.8点の差

主観的幸福度：キャントリル・ラダー（ラダー）

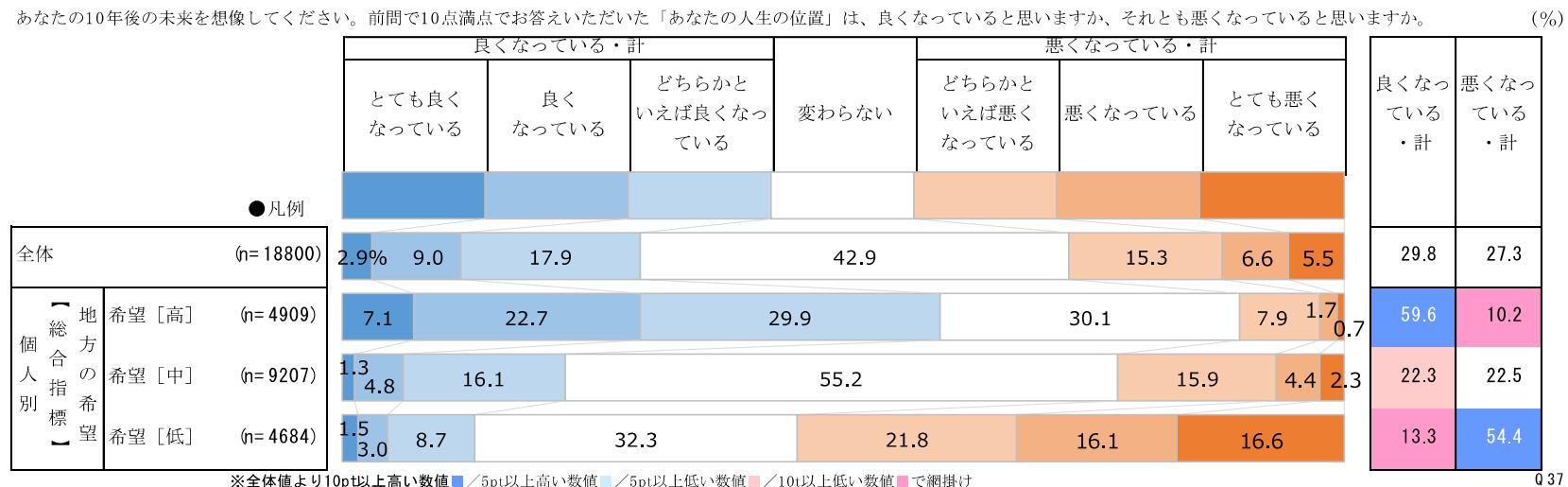
「自分の前にハシゴがあると想像して、考える最高の人生がハシゴの一番上(10段目)、最低の人生が一番下(0段目)とするなら、現在の自分の人生は何段目にあると思うか」を0点から10点で自己採点



「地域の希望」の効果：将来の幸福度

- › 「地域の希望」は、個人の持続的幸福（Well-being）を高める
- › 「地域の希望」が高い層と低い層では、自分の10年後に対する見通しに大きな格差
 - 希望 [高] では、10年後の人生が「良くなっている」は56.6%
 - 希望 [中] では、10年後も「変わらない」が55.2%
 - 希望 [低] では、10年後が「悪くなっている」が54.4%

■ 将來の幸福度（全体／單一回答）

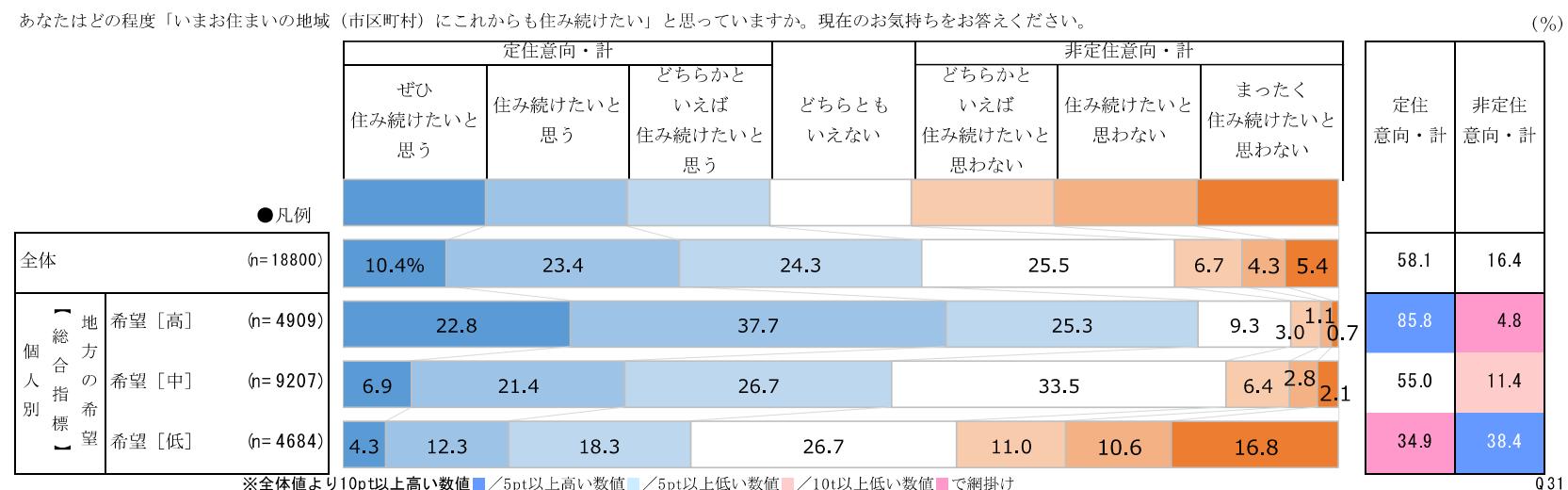


「地域の希望」の効果：定住意向

- 「地域の希望」は、地域への定住意向を高める
- 未来に明るい希望が持てない地域からは人口が流出することを示唆
 - 定住意向：希望 [高] 85.8%、希望 [中] 55.0%、希望 [低] 34.9%
 - 離脱意向：希望 [高] 4.8%、希望 [中] 11.4%、希望 [低] 38.4%

■定住意向【現在】（全体／単一回答）

あなたはどの程度「いまお住まいの地域（市区町村）にこれからも住み続けたい」と思っていますか。現在のお気持ちをお答えください。

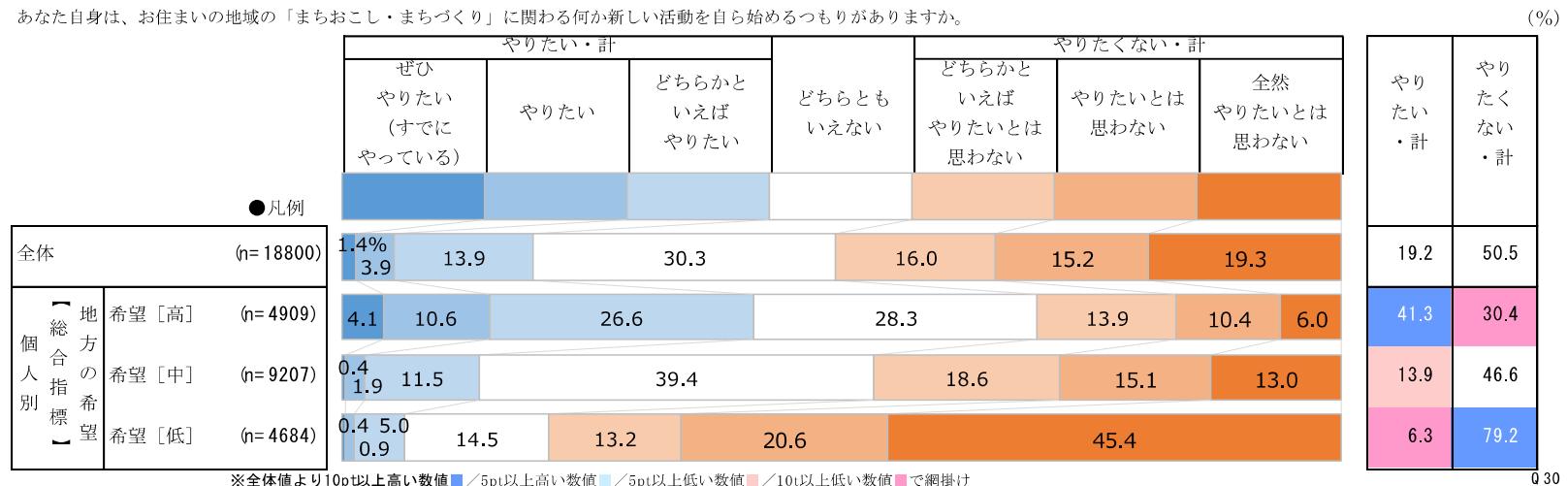


地域の希望の効果：挑戦意向を高める

- > 希望 [高] では、まちおこし・まちづくりに関わる新しい活動を自ら始める挑戦意向が4割を超える
 - だが26.6%は「どちらかといえば」なので、背中を押す機会を用意することが必要
- > 希望 [中] や希望 [低] では挑戦意向は1割前後
 - 希望 [低] の45.4%は「全然やりたいとは思わない」と拒否

■挑戦意欲（全体／単一回答）

あなた自身は、お住まいの地域の「まちおこし・まちづくり」に関わる何か新しい活動を自ら始めるつもりがありますか。

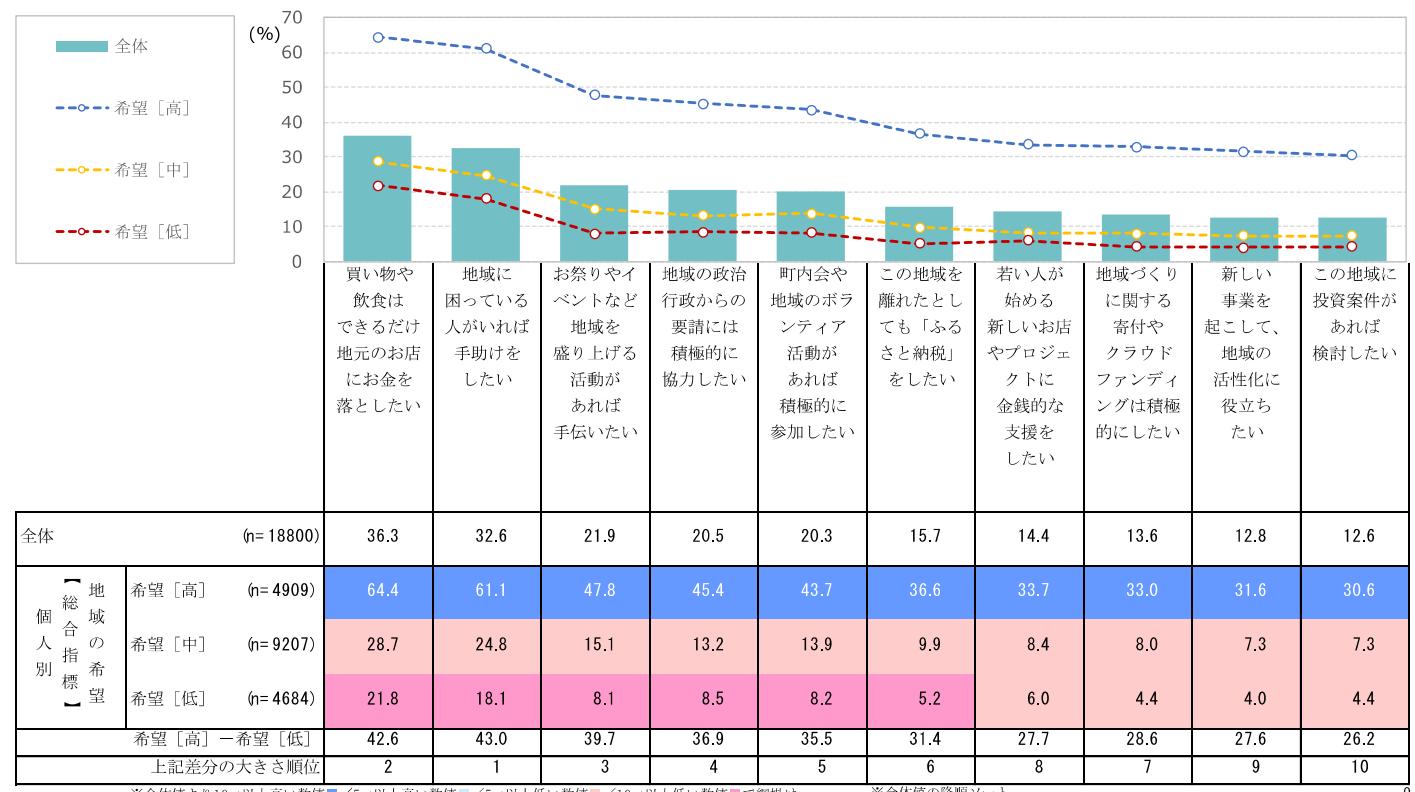


「地域の希望」の効果：地域へのコミットメント

- 「地域の希望」によって、地域へコミットメントする意向が大きく異なる
- 希望 [高] では、起業のほか投資や金銭的な支援意向も3割
- 希望 [中] [低] では、人助けや地元消費にすらあまり積極的ではない

■地域へのコミットメント意向／あてはまる・計（全体／各单一回答）

あなた自身は現在お住まいの地域への関わりについて、どのように考えていますか。



Q 29

希望の地域間格差

地域の希望は人口増減と密接に相関し、
それにより大きな地域間格差が生じている

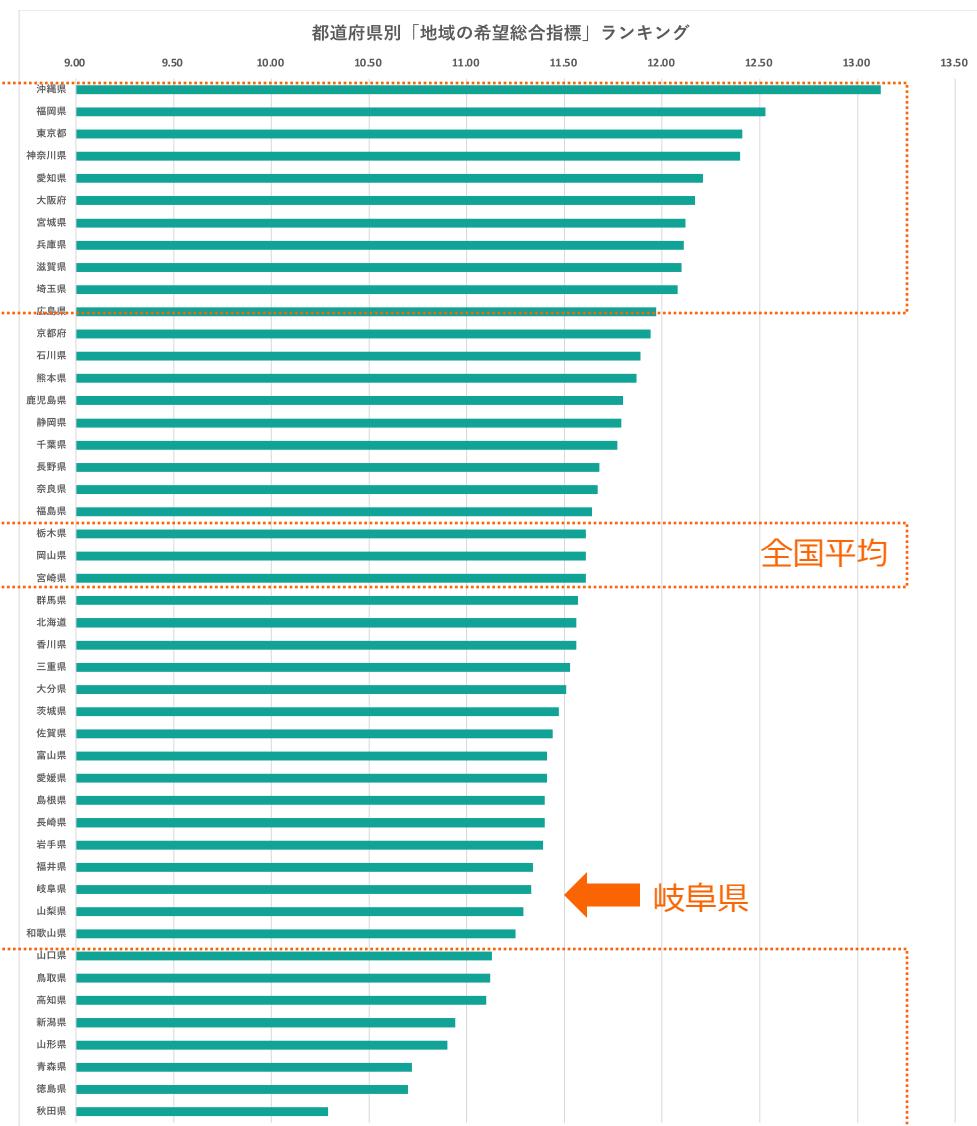
47都道府県「地域の希望」ランキング

都道府県	地域の希望 総合指標	総合希望 順位	都道府県		地域の希望 総合指標	総合希望 順位	都道府県		地域の希望 総合指標	総合希望 順位
			都道府県	順位			都道府県	順位		
全国平均	11.61		15 新潟県		10.94	43	31 鳥取県		11.12	41
1 北海道	11.56	25	16 富山県		11.41	31	32 島根県		11.40	33
2 青森県	10.72	45	17 石川県		11.89	13	33 岡山県		11.61	21
3 岩手県	11.39	35	18 福井県		11.34	36	34 広島県		11.97	11
4 宮城県	12.12	7	19 山梨県		11.29	38	35 山口県		11.13	40
5 秋田県	10.29	47	20 長野県		11.68	18	36 徳島県		10.70	46
6 山形県	10.90	44	21 岐阜県		11.33	37	37 香川県		11.56	25
7 福島県	11.64	20	22 静岡県		11.79	16	38 愛媛県		11.41	31
8 茨城県	11.47	29	23 愛知県		12.21	5	39 高知県		11.10	42
9 栃木県	11.61	21	24 三重県		11.53	27	40 福岡県		12.53	2
10 群馬県	11.57	24	25 滋賀県		12.10	9	41 佐賀県		11.44	30
11 埼玉県	12.08	10	26 京都府		11.94	12	42 長崎県		11.40	33
12 千葉県	11.77	17	27 大阪府		12.17	6	43 熊本県		11.87	14
13 東京都	12.41	3	28 兵庫県		12.11	8	44 大分県		11.51	28
14 神奈川県	12.40	4	29 奈良県		11.67	19	45 宮崎県		11.61	21
			30 和歌山県		11.25	39	46 鹿児島県		11.80	15
							47 沖縄県		13.12	1

47都道府県「地域の希望」ランキング

全国平均以上（希望度“高～中”）			全国平均未満（希望度“中～低”）		
順位	都道府県	地域の希望総合指標	順位	都道府県	地域の希望総合指標
1	沖縄県	13.12	24	群馬県	11.57
2	福岡県	12.53	25	北海道	11.56
3	東京都	12.41	27	香川県	11.56
4	神奈川県	12.40	28	三重県	11.53
5	愛知県	12.21	29	大分県	11.51
6	大阪府	12.17	30	茨城県	11.47
7	宮城県	12.12	31	佐賀県	11.44
8	兵庫県	12.11	33	富山県	11.41
9	滋賀県	12.10	35	愛媛県	11.41
10	埼玉県	12.08	36	島根県	11.40
11	広島県	11.97	37	長崎県	11.40
12	京都府	11.94		岩手県	11.39
13	石川県	11.89		福井県	11.34
14	熊本県	11.87		岐阜県	11.33
15	鹿児島県	11.80		山梨県	11.29
16	静岡県	11.79		和歌山県	11.25
17	千葉県	11.77		山口県	11.13
18	長野県	11.68		鳥取県	11.12
19	奈良県	11.67		高知県	11.10
20	福島県	11.64		新潟県	10.94
	栃木県	11.61		山形県	10.90
21	岡山県	11.61		青森県	10.72
	宮崎県	11.61		徳島県	10.70
	全国平均	11.61		秋田県	10.29

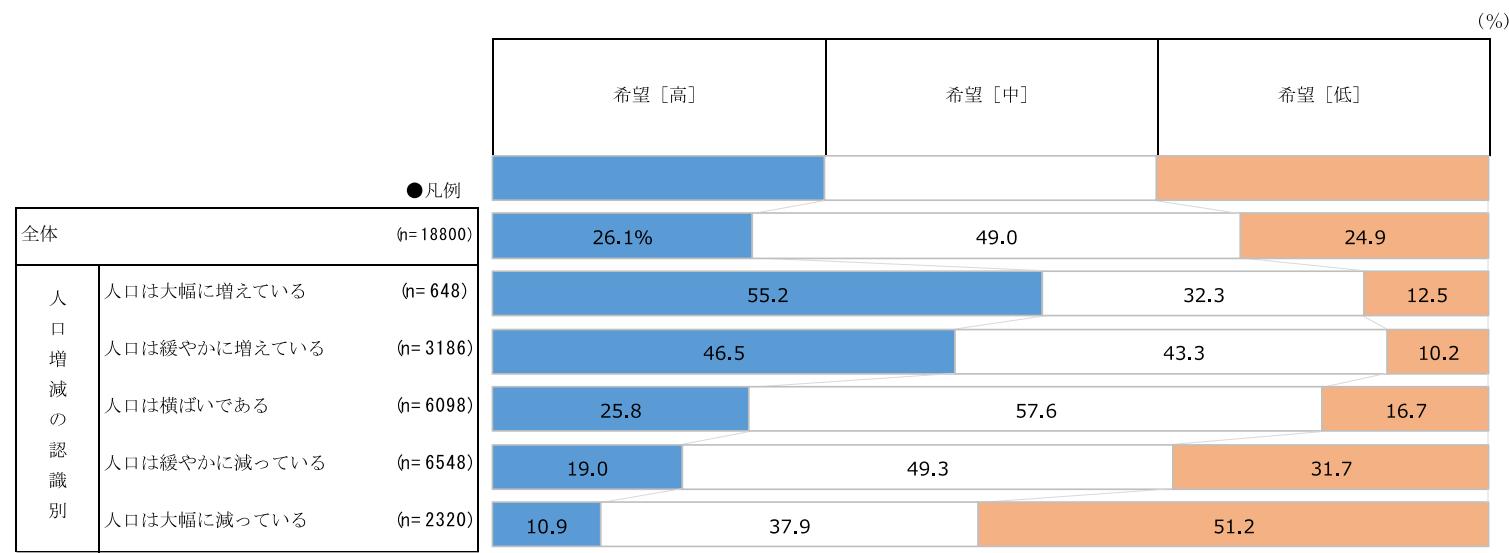
n=18,800 (各都道府県:n=400)



「地域の希望」と人口増減の認識

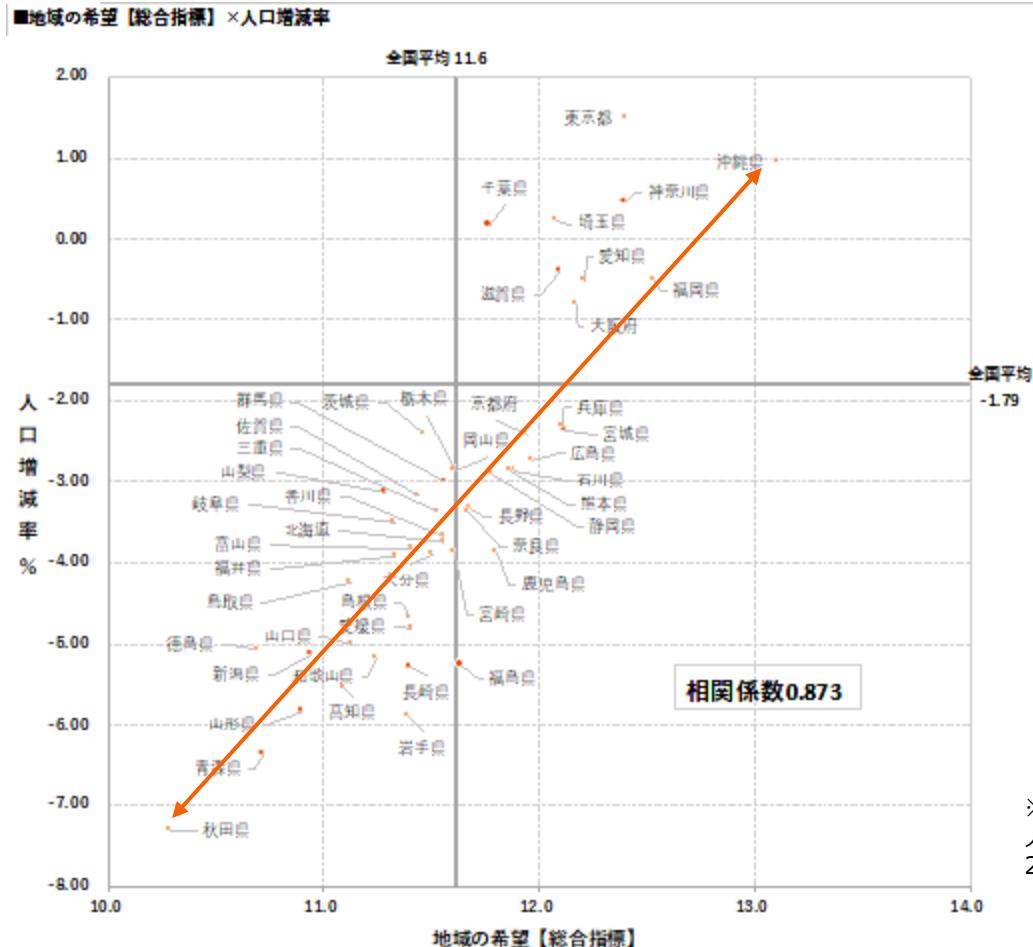
- 地域の人口減少を認識することで地域の希望が失われていく
- ※回答者全体での人口増減の認識は、人口動態の統計とは一致しないことは留意
- ※全国1896市町村のうち人口が増えたのは全体の14.7% 279自治体（2023年）
 - ・ 「大幅に増えている」 3.4%、「緩やかに増えている」 16.9% → 増加計20.3%
 - ・ 「横ばい」 32.4%
 - ・ 「緩やかに減っている」 34.8%、「大幅に減っている」 12.3% → 減少計47.1%

■ 人口増減の認識別・地域の希望【総合指標】個人



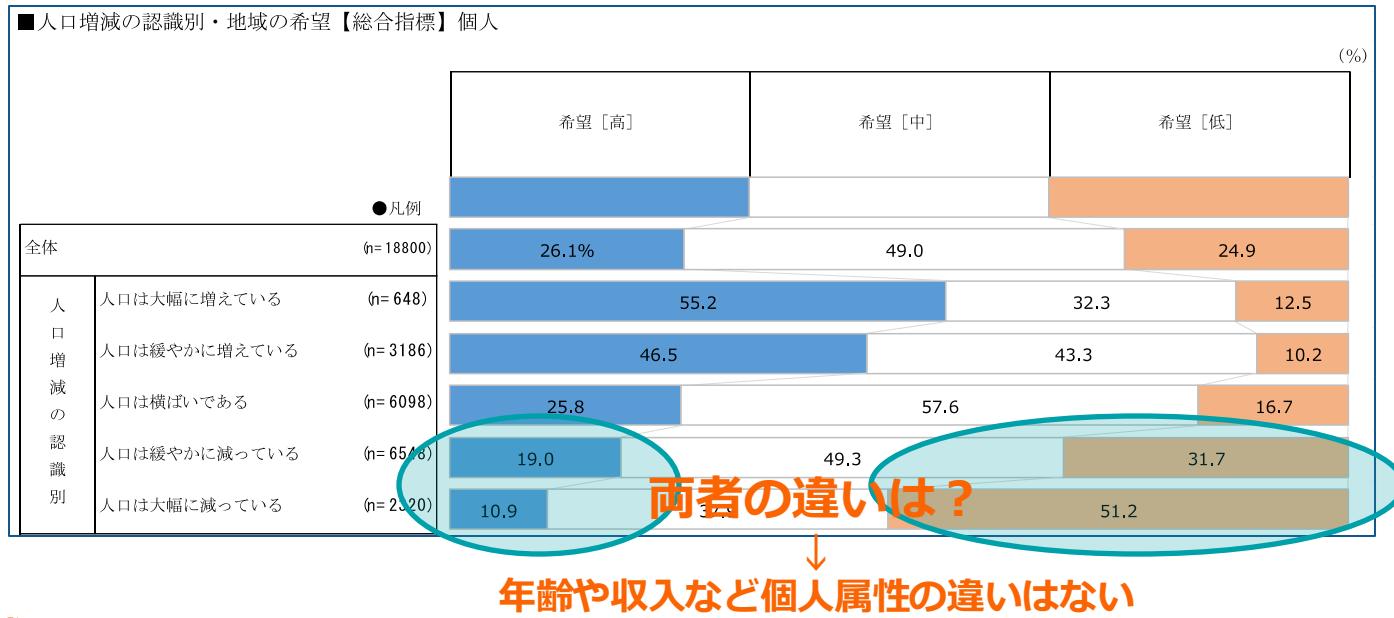
「地域の希望」と人口増減率

- 「地域の希望」と人口増減率は相関関係は、**0.873**と非常に高い
 - 人口減少率が高い地域で「地域の希望」が低くなる傾向が明らか



人口減少でも地域に希望を見出すには
希望は変化を好む

人口減少でも地域の未来に希望を持つ人、あきらめる人

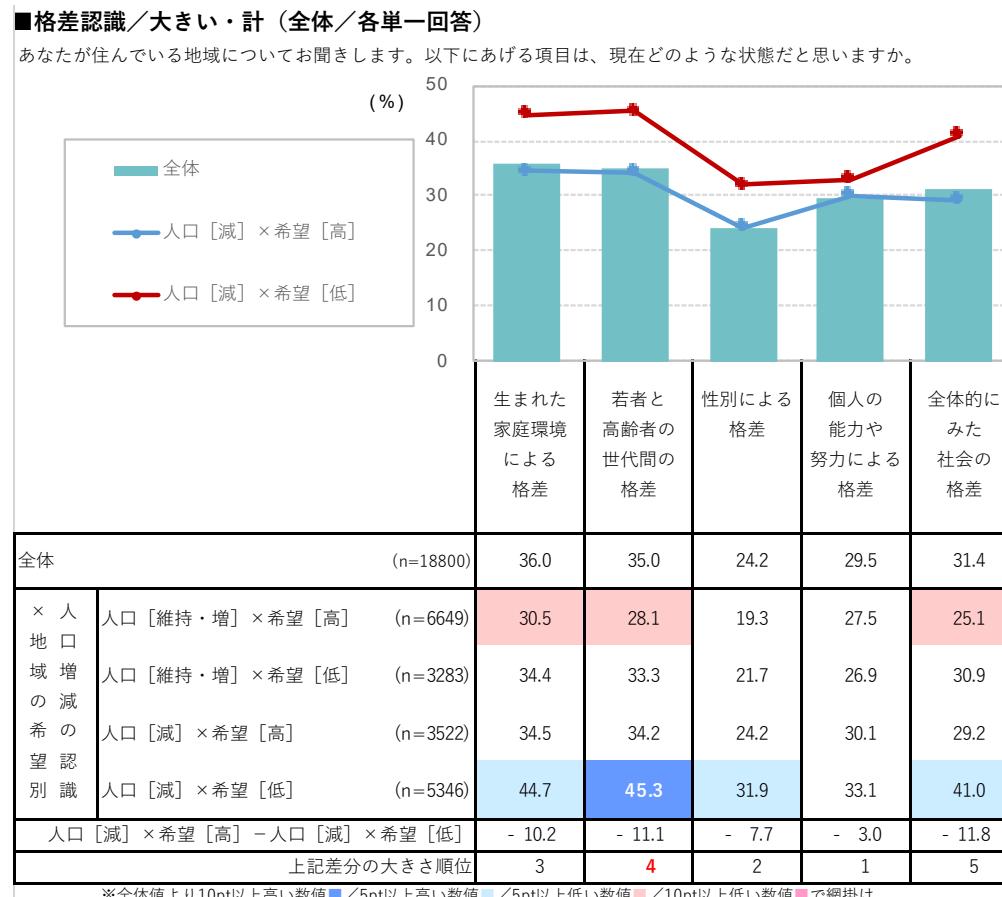


▼地域の現状認識・評価

1. 地域内の格差認識（ネガティブ要因として）
2. 地域の固有性評価（自然や歴史、産業、文化などその地域の個性の認識）
3. 地域の生活環境満足度（居住、余暇、子育て、医療など12分野）
4. 地域の変化の認識
 - ・ひとの動き（世代交代、外国人、ジェンダー平等などの変化）
 - ・まちの動き（都市開発、公共空間・店・施設など街の風景、産業、賃金などの変化）
 - ・社会の動き（DX、GX）
5. ロールモデルの存在
6. 政治行政への信頼度

地域内格差の認識

- ▶ 地域における格差の認識は「地域の希望」に対して負の効果
 - ・ 特に人口減少地域の希望 [低] は、「若者と高齢者の世代間格差」（45.3%）、「生まれた家庭環境による格差」（44.7%）が大きいと認識

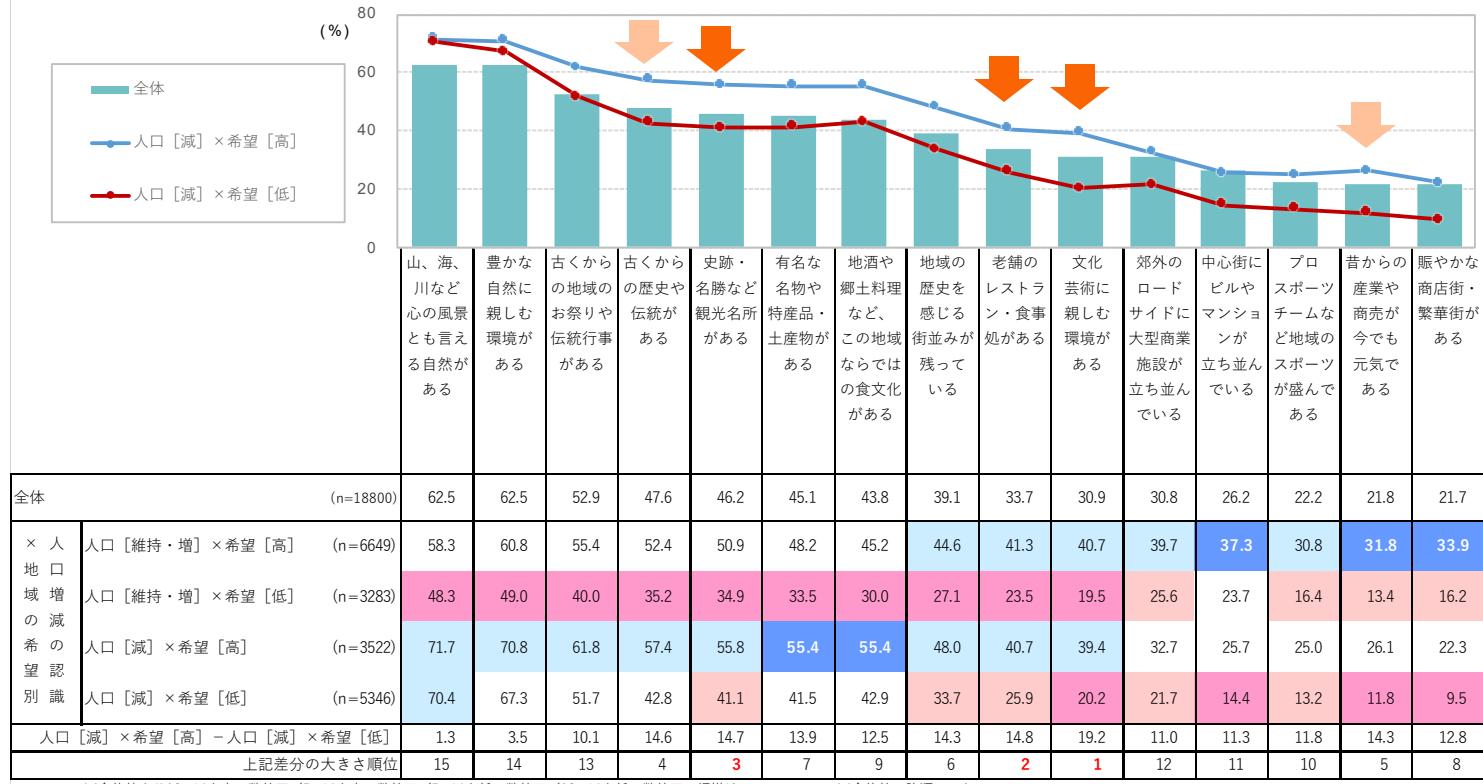


地域の固有性評価

- 自然環境は「地域の希望」の高低を分けるポイントにはならない
- 文化芸術、老舗のレストラン、観光名所、歴史や伝統、伝統産業・商売に大きな差
 - 自然や風土は、生活文化と結びつかないと「地域の希望」につながらない

■「固有性」評価／あてはまる・計（全体／各単一回答）

以下のことは、あなたのお住まいの地域にどの程度あてはまりますか。

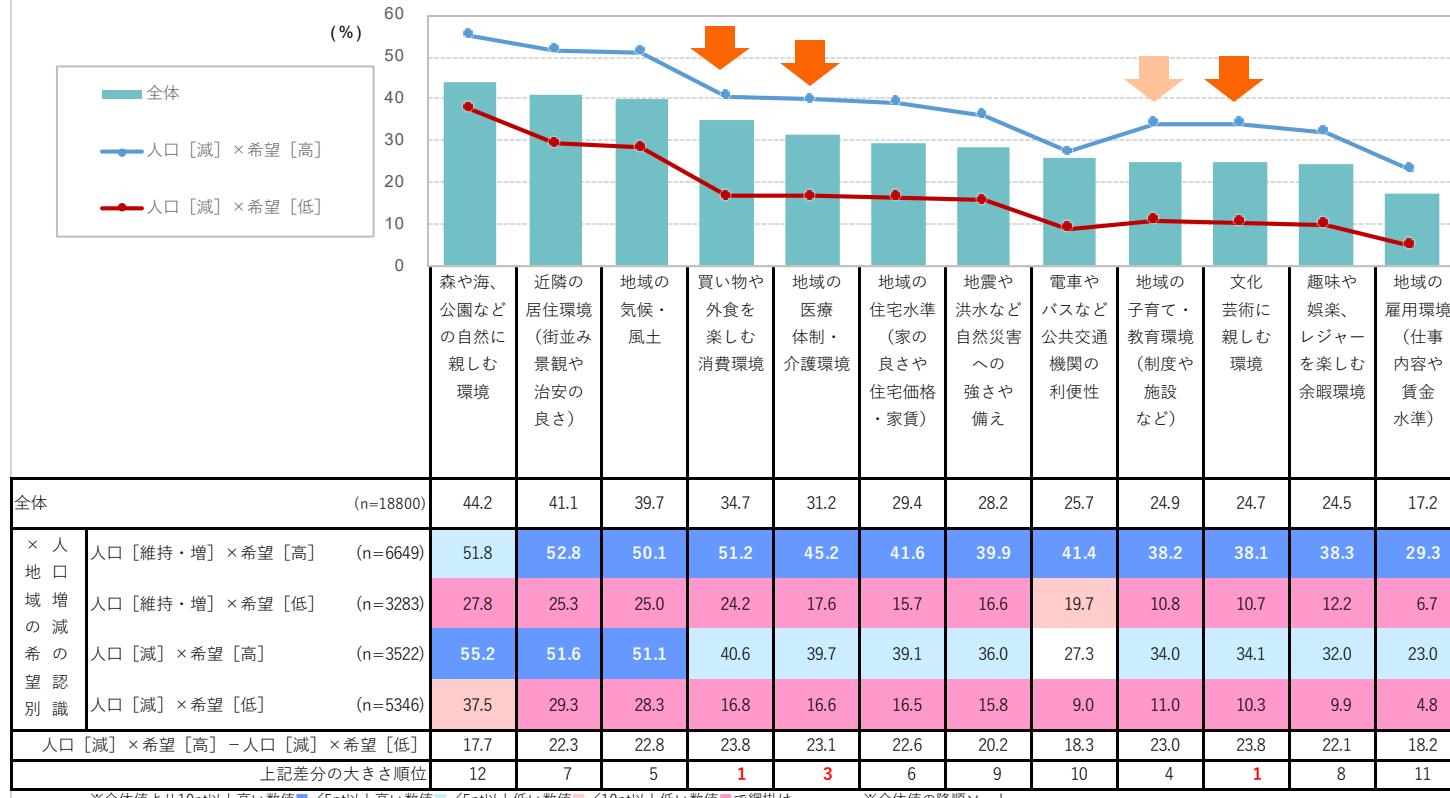


生活環境の満足度

- 希望 [高] と希望 [低] で全般に大きな差がある
- 人口 [減] ×希望 [高] では、消費環境、文化芸術に親しむ環境、医療・介護環境、子育て教育環境の満足度が希望 [低] よりも高い

■生活領域別環境評価／満足・計（全体／各単一回答）

以下にあげる、あなたのお住まいの地域の生活環境について、あなたはどの程度評価していますか。

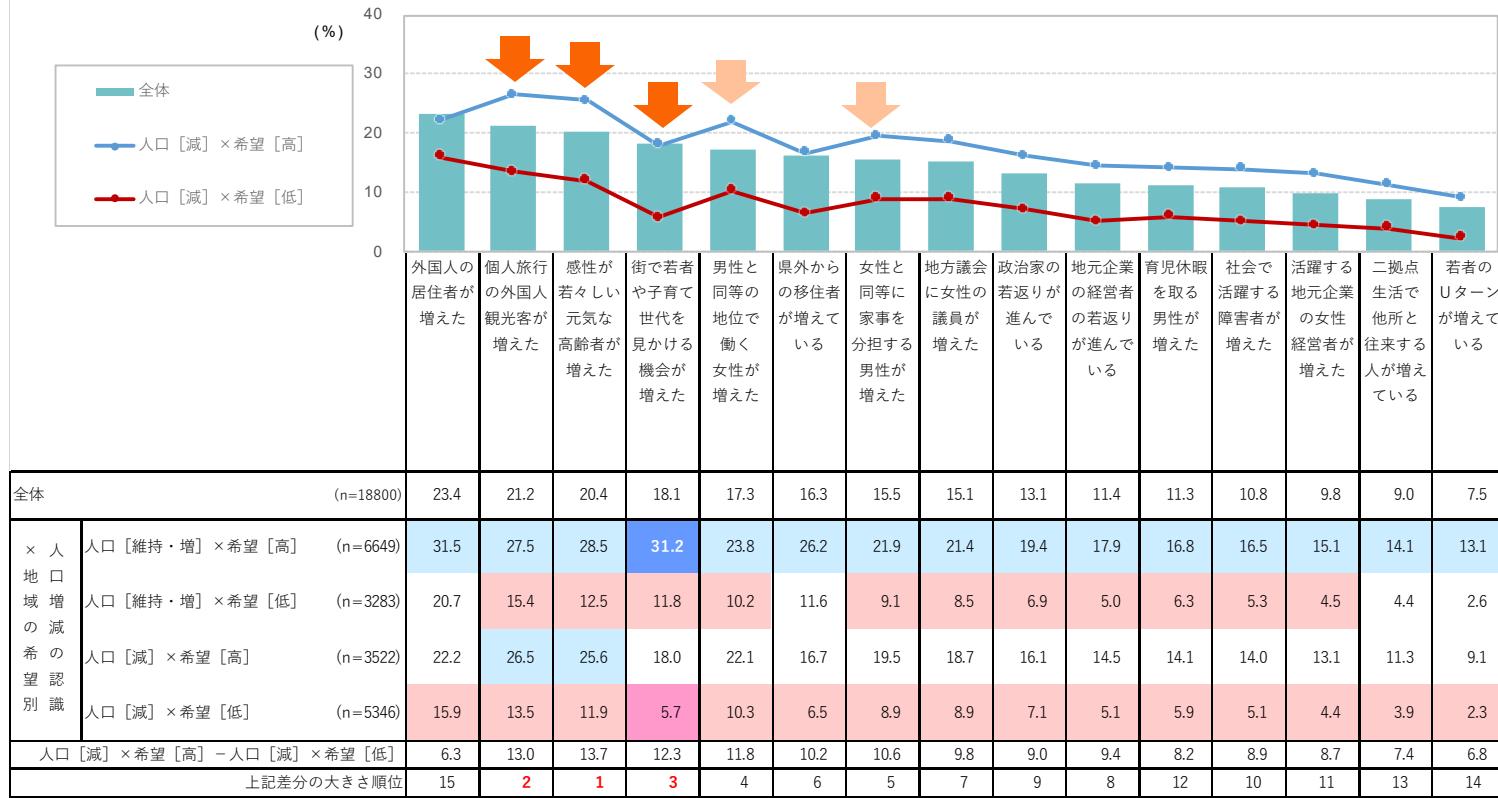


地域の変化：ひとの動き

- 世代交代と多様性が先導する新しい価値観が「地域の希望」の兆し
 - 「感性が若い高齢者」、「外国人観光客」、「若者・子育て世代」で差が大きい
 - 「男性と同等の地位で働く女性が増えた」「女性と同等に家事を分担する男性が増えた」も希望 [高] と希望 [低] で差が大きく、ジェンダー平等の重要性を示唆

■ 「ひとの動き」評価／あてはまる・計（全体／各単一回答）

以下のことは、昨今の（ここ5、6年の）あなたのお住まいの地域にどの程度あてはまりますか。



※全体値より10pt以上高い数値 ■ / 5pt以上高い数値 ▲ / 5pt以上低い数値 ▼ / 10pt以上低い数値 ■で網掛け

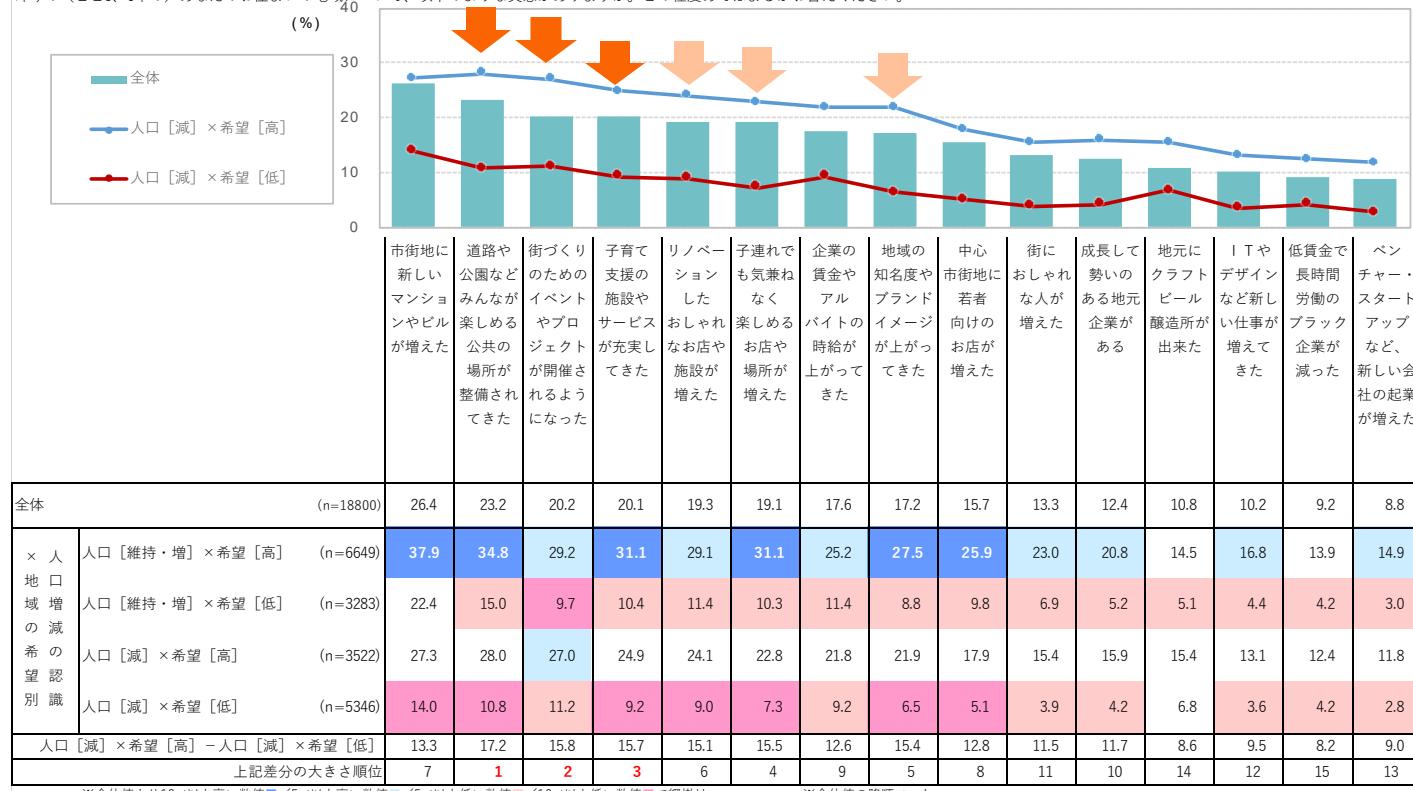
※全体値の降順ソート

地域の変化：まちの動き

- 公共空間の整備活用、まちづくりの活動、子育て支援・対応の施設が「地域の希望」を高める
 - ビルやマンションの都市開発よりも、「知名度やブランドイメージの向上」「リノベーションしたおしゃれなお店や施設が増えた」のほうが希望 [高] と [低] の差が大きい

■「まちの動き」評価／あてはまる・計（全体／各單一回答）

昨今の（ここ5、6年の）あなたの住まいの地域について、以下のような実感がありますか。どの程度あてはまるかお答えください。



地域の変化：社会の動き（DX、GX）

▶ 身近なサスティナブルが「地域の希望」を高める

- ・ 人口減少地域で希望【高】と希望【低】のもっとも大きな違いは、食の地産地消、リサイクル・リユース、SDGsというスローガン
- ・ 役所のDXも比較的大きな差がある

■「社会の動き」評価／あてはまる・計（全体／各单一回答）

昨今の（ここ5、6年の）あなたの住まいの地域について、以下のような実感がありますか。どの程度あてはまるかお答えください。



※全体値より10pt以上高い数値■／5pt以上高い数値■／5pt以上低い数値■／10pt以上低い数値■で網掛け

※全体値の降順ソート

ロールモデルの存在

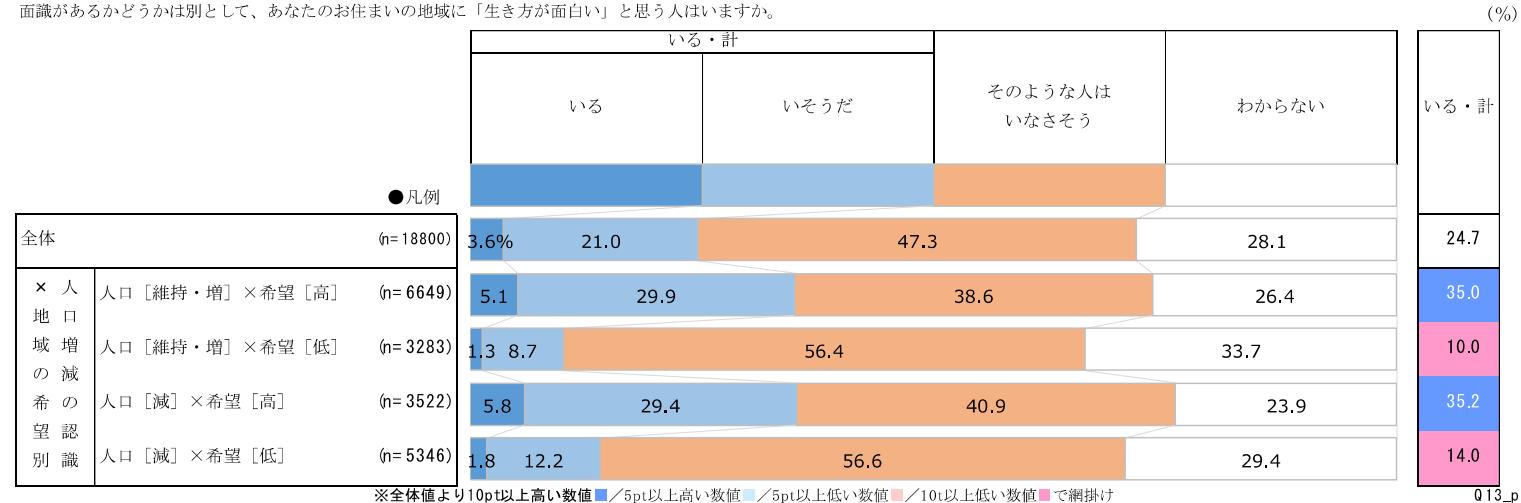
- 希望の高い地域には、「生き方が面白い人」がいる
 - 人口増減の認識にかかわらず、希望【高】では「いる」 + 「いそだ」が35%
 - 希望【低】では1割台にとどまる

■社会的学習理論（アルバート・バンデューラ）

人は自分が直接体験した事柄ではなくても、他者の体験を観察・模倣すること（＝モーデリング）で学習し、新しい行動を獲得できる

■ロールモデルの有無①「面白い人」（全体／単一回答）

面識があるかどうかは別として、あなたのお住まいの地域に「生き方が面白い」と思う人はいますか。

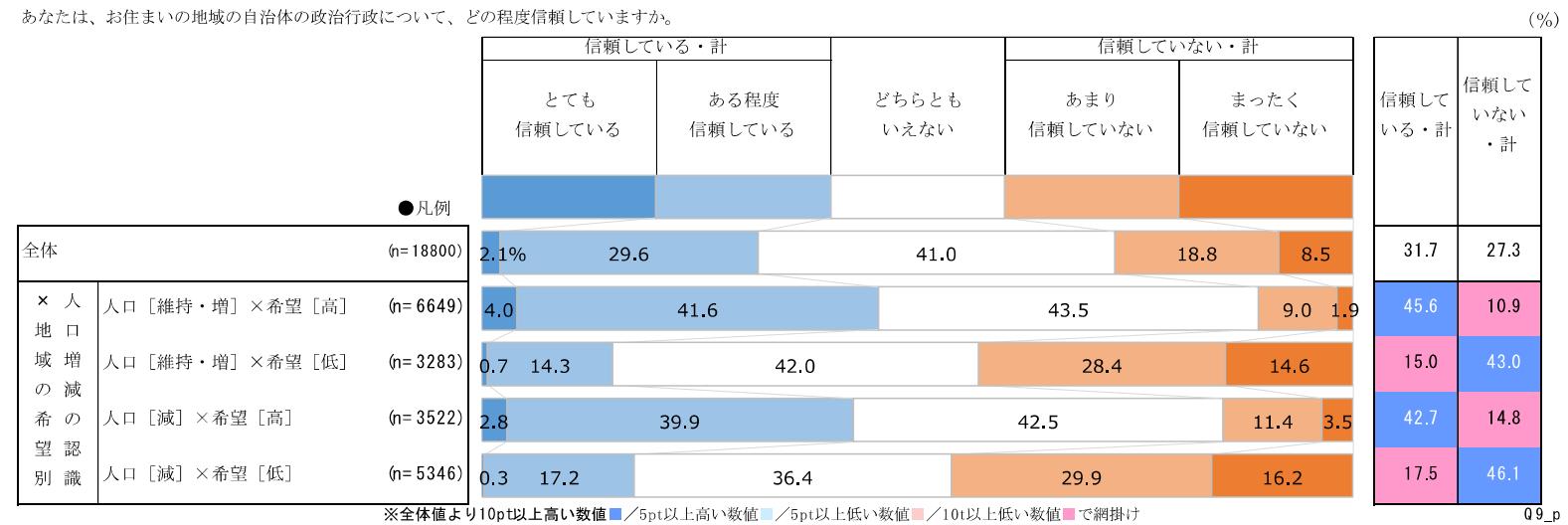


政治行政への信頼度

- 政治行政への信頼度は、「地域の希望」に大きな影響を与える
- 希望【高】と希望【低】では、信頼度の評価が真逆
 - 人口「減」×希望「高」→ 信頼度42.7%、不信頼度14.8%
 - 人口「減」×希望「低」→ 信頼度17.5%、不信頼度46.1%

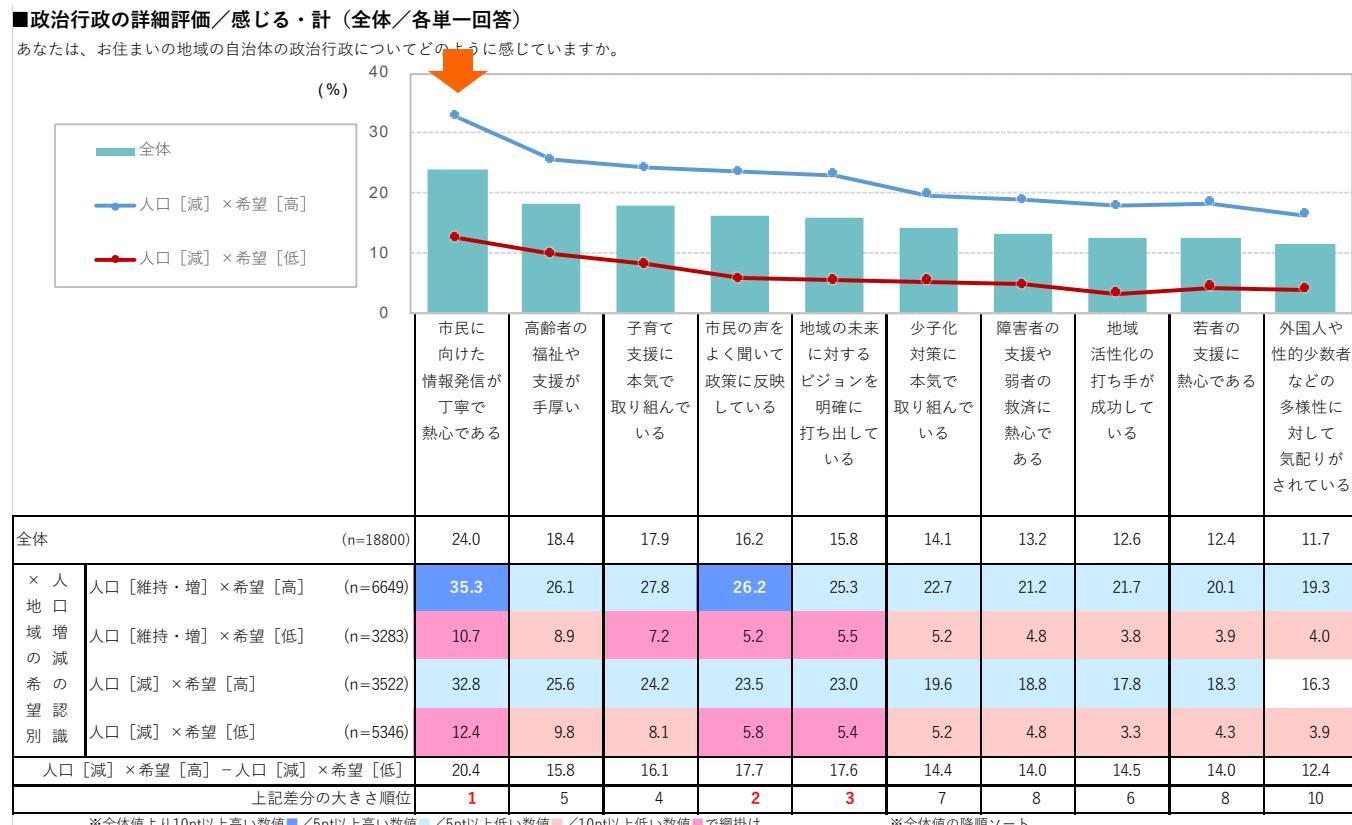
■政治・行政の総合信頼度（全体／単一回答）

あなたは、お住まいの地域の自治体の政治行政について、どの程度信頼していますか。



政治行政の評価

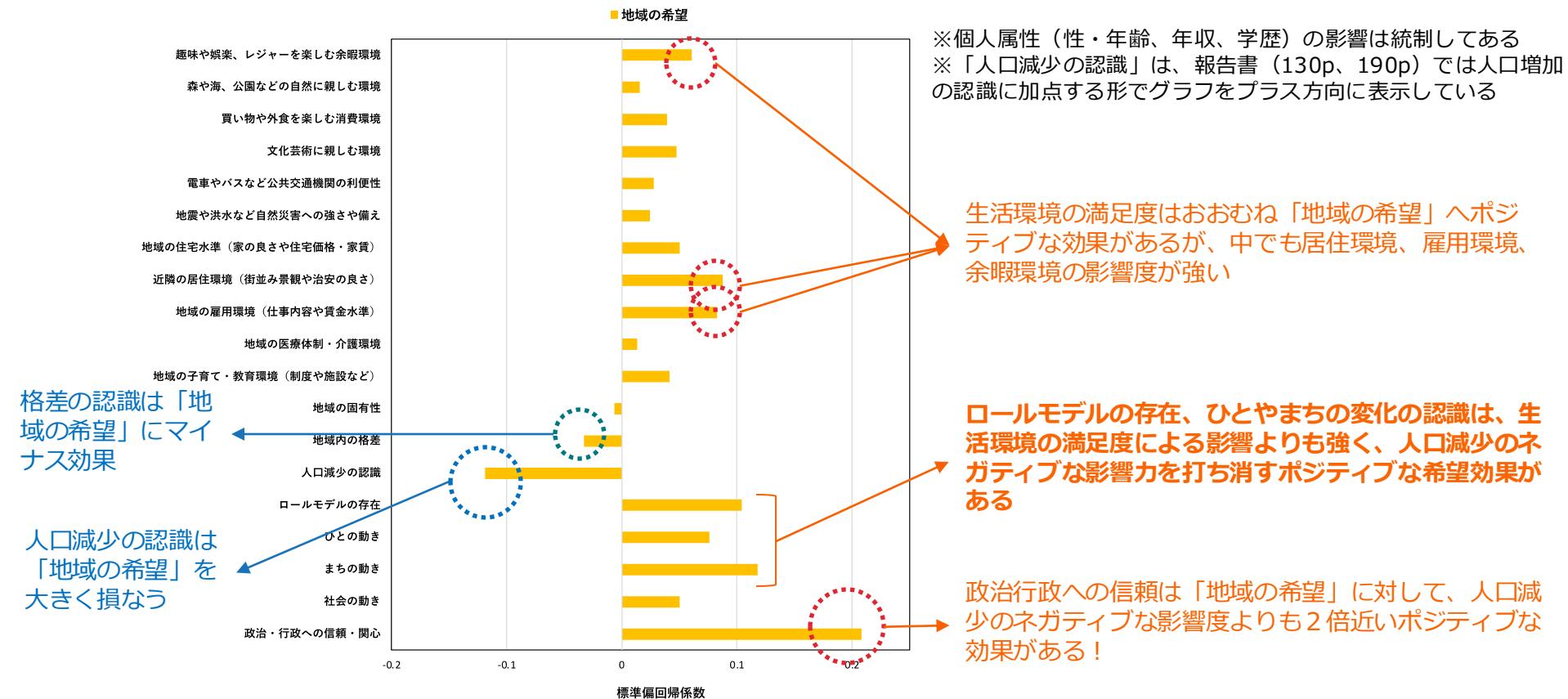
- 人口減少地域で希望 [高] と希望 [低] のもっとも大きな違いは、「市民に向けた情報発信が丁寧で熱心」という評価
 - 政治行政の情報発信は、民意の反映や個別政策への賛否を超えて「地域の希望」に与える影響が大きい



結局、なにがどれくらい重要なのか？

「地域の希望」を育むもの、損なうもの

- 人口減少の認識と地域内格差が「地域の希望」にマイナス効果
- 政治行政への関心・信頼度がもっとも強いプラスの影響力を持っている
- 地域の変化（まちの動き）やロールモデルの存在は、生活環境の満足度よりも「地域の希望」への影響力が強い



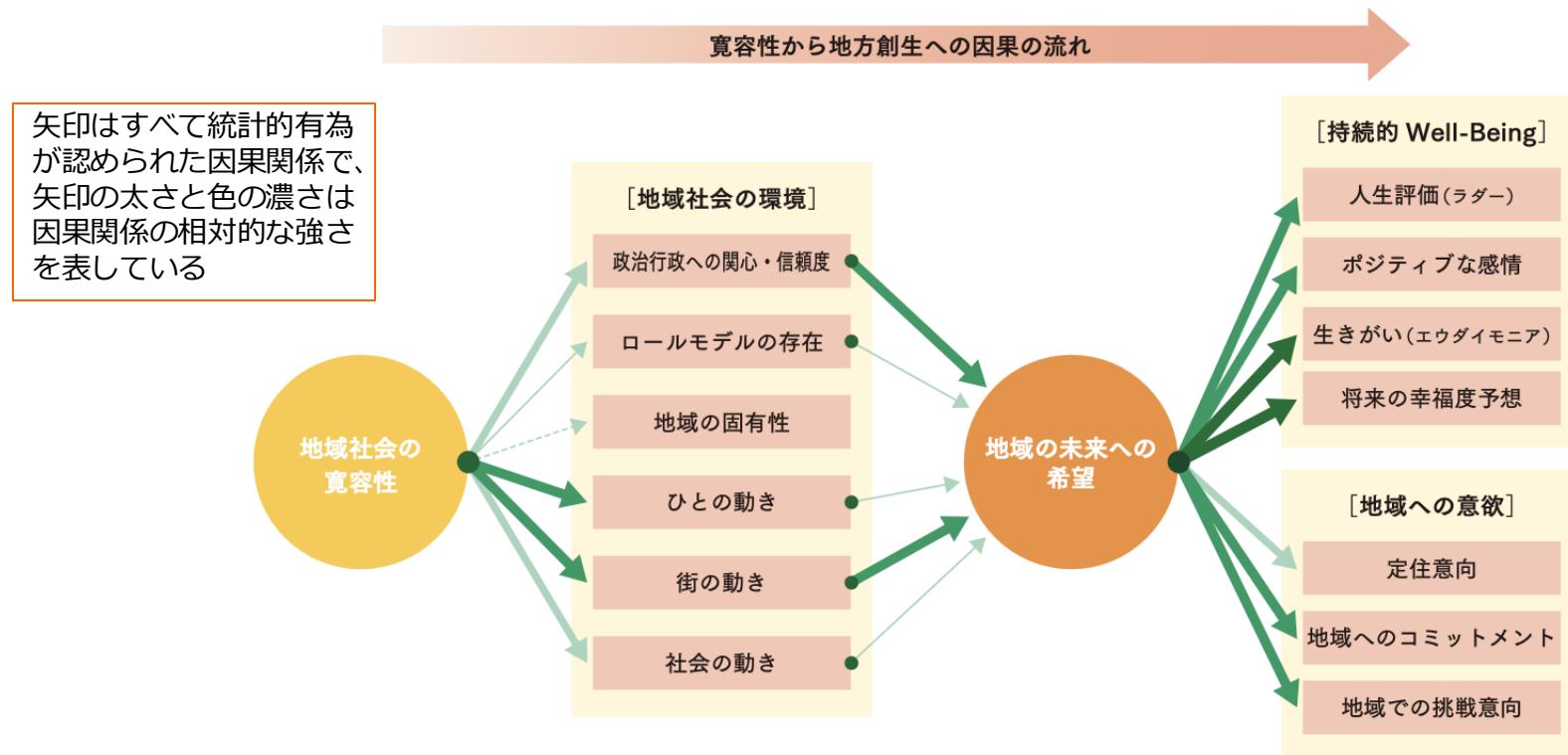
地域の希望と社会の寛容性

寛容と幸福の地方論の総括として

寛容性と地域の希望の因果モデル

- › 地域の寛容性は、地域社会の変化を経由して、「地域の希望」を高める
- › 「地域の希望」は、市民の持続的Well-beingを高め、地域に対する意欲を育てる

[図28] 寛容性から地方創生への因果関係



※この図は構造方程式モデリング(SEM: Structural Equation Modeling)によるパス解析の結果を簡略式化したもの
分析の手順等、詳しくは報告書132 p～134 pを参照

遊び心が地域に寛容性と変化を起こす

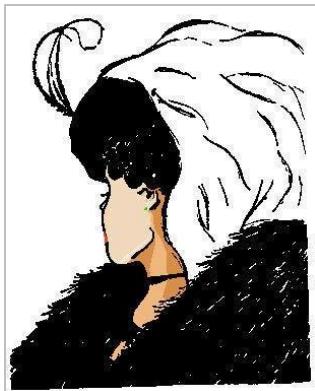
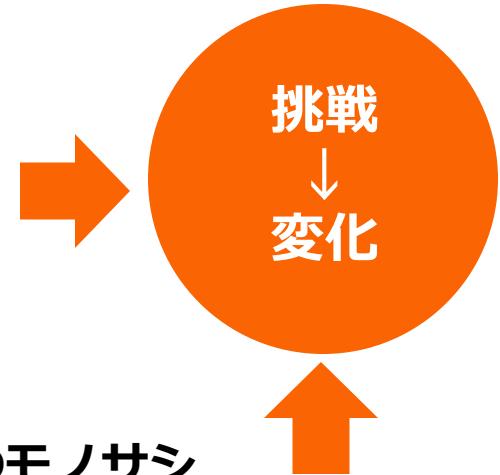
寛容性 = 多様性を認める

異なるものの見方、考え方
異なる価値観、規範
異なる幸福観 …etc.

遊び心

= 他でもあり得る可能性 = 別のモノサシ

自由
緩さ、余白、隙間、あそび
多面性、多義性、偶然性



地方創生は「まだ-ない」未来を遊べ

